

コミュニティ・スクールだより

第6号

<令和3年度第3回学校運営協議会について>

3月16日(水)に、本校の「えほんのへや」において、第3回学校運営協議会(通算では3回目)が開催されました。その内容を報告します。

1. 第2回以降の学校の取組みについて

校長から第2回学校運営協議会以降の学校の取組みを報告しました。資料は「学校だより(2、3月号)」と5、6年の学習発表会のビデオなどを使い、説明しました。

上映したビデオの内容は、5年がダンス「花城」、6年が「ブレイキン」です。6年の発表会の翌週に、ブレイキンを教えてくださった半井彩弥さんがサプライズで本校を訪れて交流できたことなど、写真を交えて説明しました。



学校運営協議会の様子

2. 令和4年度学校運営委の基本方針について

始めに、校長から今年度の「学校アンケート」の結果を報告しました。主な内容は、次のとおりです。

- ・「学校へ行くのは楽しい」(児童)や「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」(保護者)の質問への肯定的な回答が低い。
- ・「学校には仲のいい友だちがいる」や「学校の授業はよくわかる」への肯定的な回答は高いが、「学校の授業は楽しい」への肯定的な回答は低い。

次に、これらの結果をふまえて作成した「令和4年度学校運営委の基本方針(案)」を説明しました。

これらに対し、委員の方から次のような意見や質問がありました。

<学校や授業は「楽しい」の項目に関して>

- ・タブレットの活用やグループ活動は、どのように取り組んでいたのか。
- ・児童のアンケートで「楽しい」に関する結果は、学年で違いがあったのか。
- ・授業について「楽しい、楽しくない」で判断させることは、どうなのか。
「楽しい」のとらえ方が難しいのでは。家庭の要因も大きいのでは。
- ・わからないときに、質問できる環境が必要だろう。それが「楽しい」の結果を高めるのでは。

<今後について>

- ・アンケート結果は先生と子どもたちの関係が、大きく関わってくる。それぞれの先生の良さを、生かしてほしい。
- ・教職員が抱えているものを軽減できるよう、教育課程を教科横断的にして、編成を緩やかにするべきでは。
- ・学校が地域福祉の拠点となるよう、外部機関との連携が大切。
- ・学校が担っている福祉を、地域が担っていく必要がある。

このように、学校を応援するご意見をいただきました。そして、基本方針は承認されました。

3. 来年度の取組みをさらに充実させるために

(1) 校長から

今年度の取組みについて、各学年で振り返りをして、それをまとめた資料をもとに、説明しました。

(2) 意見交換

委員の方から次のような意見や質問がありました。

<地域学校協働活動推進員より>

- ・先生方との打ち合わせ等の時間共有は課題。
今年度は、校長先生、教頭先生、首席の先生との連携で進めることができた。
- ・コロナ禍での取り組みで、地域が学校に入ることはまだ難しかった。

<意見>

- ・打合せの時間を少なくするためにも、カリキュラム・マネジメントが必要。

4. 閉会の挨拶

- ・タブレット端末を活用した授業づくりの推進は課題。教育委員会から、学校をさらに支援してほしい。

(協議会の内容は以上です)

今年度も、コロナの対応で学校が大変な時期もありましたが、地域学校協働活動推進員の田中さんや、学校運営協議会委員の皆様、保護者の皆様のご協力で、地域に関わる様々な取組みを進めることができました。ありがとうございます。

新年度、地域の皆様と保護者の皆様へ「一小応援団」の募集を予定しています。“できるときに、できることを”に、ご協力いただければありがたいです。

(文責 酒匂)